

交通学研究

第68号 2025年3月

《目次》

序文

日本交通学会会長 竹内 健蔵

<会長講演>

- 1 日本交通学会が目指すもう1つの目的…………… 1
竹内 健蔵 (東京女子大学)

<シンポジウム> 「公共交通・トラックの自動運転の普及と都市・交通政策の新たな挑戦」

(基調講演)

- 1 地域公共交通における自動運転技術を活用したサービスの現状と展望…………… 9
長東 晃一 (東急株式会社)

<研究論文>

- 1 都市鉄道における通勤時間帯の有料着席サービスに対する支払意思額の推計…………… 17
水谷 淳 (神戸大学)
藤井 成弥 (広島商船高等専門学校)
- 2 JR北海道における輸送密度・営業収益を規定する要因の把握—線区別データを用いた定量的分析—
…………… 25
藤田 知也 (北海学園大学)
- 3 鉄道の割引商品の発売枠制御によるイールドマネジメントの効果検証—A/Bテストに基づいて— …… 33
松本 涼佑 (鉄道総合技術研究所)
- 4 因果推論手法を用いた地方鉄道インフラの社会的影響識別の試み—2000年以降の地方民鉄路線存廃判断
の基礎自治体への影響— …………… 41
伊東 尋志 (金沢大学)
- 5 都市高速道路の料金政策に対する利用者の意識分析—阪神高速道路を対象として—…………… 49
井ノ口 弘昭 (関西大学)
奥嶋 政嗣 (徳島大学)
秋山 孝正 (セントラルコンサルタント)
- 6 四国地方における各種の高速道路料金設定の影響に関する研究…………… 57
奥嶋 政嗣 (徳島大学)
- 7 コンパクト・プラス・ネットワーク型都市の交通利便性が生活拠点人口に与える影響…………… 65
福山 敬 (鳥取大学)

8	地方圏の公共交通サービス水準に関する一考察：オーストリアの現状分析を踏まえて……………	73
	宇都宮 浄人（関西大学） 三輪 哲大（前ウィーン工科大学） 柴山 多佳児（ウィーン工科大学）	
9	日本国内におけるレストラン列車の収支採算性に関する一考察－伊予灘ものがたりに関する収支を中心 に－……………	81
	渡邊 亮（日本交通学会員） 曾我 治夫（日本交通学会員） 遠藤 俊太郎（交通経済研究所）	
10	鉄道会社が主催するウォーキングイベントの価値評価－トラベルコスト法を用いた社会的余剰分析－ ……………	89
	藤井 成弥（広島商船高等専門学校） 水谷 淳（神戸大学）	
11	クルーズ船寄港地住民のクルーズ船および乗船客に対する認識……………	97
	酒井 裕規（神戸大学） 水谷 淳（神戸大学）	
12	航空旅客輸送事業における機材編成と効率性……………	105
	森山 真稔（神戸大学） 安達 晃史（同志社大学）	
13	オーストリアにおける地方バス路線の確保維持制度……………	113
	何 功（計量計画研究所・芝浦工業大学）	
14	荷主との連携によるデジタル技術活用事例から見た物流の効率化・生産性向上をもたらす要因ならびに 課題について……………	121
	島本 真嗣（運輸総合研究所） 手塚 有希子（運輸総合研究所） 深作 和久（運輸総合研究所）	
15	地域における自動運転を用いたモビリティの運営とその意味に関する考察……………	129
	鶴指 眞志（国土交通省国土交通政策研究所） 澤村 治基（国土交通省国土交通政策研究所）	
	<SUMMARY>……………	137
	<活動記録>……………	145
	<編集後記>	編集委員長 後藤 孝夫